

第2学年3組算数科学習指導案

日 時：平成31年2月5日（火）

授業者：藤井 裕子

1 単元名 「おり紙たりのかな」（4時間）

2 単元の目標

○数量の関係に着目し、乗法や加法、減法が用いられる場面を進んで見付けようとする。

【算数への関心・意欲・態度】

○数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考えたりしている。

【数学的な考え方】

○数量の関係を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。

【数量や図形についての技能】

○図や式に表したり読み取ったりすることを通して、数量の関係を理解している。

【数量や図形についての知識・理解】

3 指導と評価の計画（全2時間）

| 時 | 主な学習活動と児童の反応 | 評価 | | | | |
|-------------------|--|----|---|---|---|---|
| | | 関 | 考 | 技 | 知 | 評価規準（評価方法） |
| 学活 「お楽しみ会をしよう」 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> みんなが楽しめるビー玉パーティーPart 2をひらこう！ </div> <p>○「ビー玉パーティー」の内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度は、何をしようかな？ ・教室もきれいに飾りたいね。 | | | | | |
| 1 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ビー玉パーティーPart 2をしよう!! ～花かざりで教室をかざろう～ </div> <p>○花かざりに必要な「おはながみ」がたりるか予想する。</p> <p>○分からないことを出し合い、解決への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たりるかたりないか？むずかしいな。 ・問題が長いなあ。 ・もう少し知りたいことがある。 ・何算になるかな。 | ◎ | | | | 数量の関係に着目し、乗法や加法、減法が用いられる場面を進んで見付けようとしている。 （ホワイトボード、発言） |

| | | | | | |
|-----------|--|--|---|---|---|
| 2 | <p>○ホワイトボードを用いて、互いの疑問や考えを、図・式・言葉等を使って伝え合い整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図は分かるけど、式が分からない。 ・この数は何を表しているのかな。 | | ◎ | ○ | <p>数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考えたりしている。</p> <p>(ホワイトボード、発言)</p> |
| 3 | <p>○「おはながみ」が足りる理由を図や言葉などで表し説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはながみは足りません。わけは…。 ・式や言葉をつかって書けたよ。 | | | | ○ <p>図や式に表したり読み取ったりすることを通して、数量の関係を理解している。(発言・ノート)</p> |
| 4 (本時) | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ビー玉パーティーPart 2をしよう!! ～カラフルわかざりで教室をかざろう～</p> </div> <p>○窓に飾る輪飾りに必要なおり紙の数が足りるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まど1つに折り紙が何枚いるのかな。 ・絵や図をかいてみよう。 ・まどは4つあるから、かけ算が使えるぞ。 | | ◎ | ○ | <p>数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考えたりしている。</p> <p>(ホワイトボード、発言)</p> |
| 学活 | <p>○「ビー玉パーティーPart 2」を開く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飾り付けもがんばるぞ。 ・算数で学習したとおりだ。 ・みんなで楽しむぞ。 | | | | |

4 本時の学習 (4 / 4 時間)

(1) ねらい

○輪飾りを作るために必要なおり紙が足りるか考える活動をとおして、数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考えたりすることができる。

【数学的な考え方】

(2) 展開

| 主な学習活動と予想される児童の反応 (・) | ○教師の支援 ◆評価 |
|---|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>ビー玉パーティーPart 2をしよう!! ～カラフルわかざりで教室をかざろう～</p> </div> <p>1 本時の学習を知り予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輪飾り作り、楽しそうだな。 ・おり紙は何枚いるのかな。 ・20枚あればできそう。 ・20枚では足りないかも。 | <p>○実際に輪かざりを見せることで実生活と結び付けて問題を捉えることができるようにする。</p> <p>○20枚で足りるか足りないか予想させ、解決の見通しをもたせる。</p> |

おり紙が20まいでたりるかたりないか考えよう。

2 自分なりの方法で解決する。

- ・数字がいっぱいあってごちゃごちゃしている。
- ・絵や図でかいてみよう。
- ・図は分かるけど、式が分からない。

3 全体で話し合う。

- ・おり紙1まいから、わっかが8こできるから、
 $8 \times 3 = 24$
- ・1本のわかざりに、おり紙は3まいいる。
まどの数は4つだから、
 $3 \times 4 = 12$
- ・〇〇さんの式の数は、何を表しているのかな。
- ・折り紙のまい数は12まい。20まいあればたりるね。

4 学習を振り返る。

- ・お話を絵や図にかくと分かりやすいね。
- ・問題の順番によく考えることが大切だね。
- ・式に関係ないお話もあるんだな。
- ・本当に8枚あまるのか、早く輪かざりを作ってみたいな。

- ペアで協力して活動できるようにする。
- ホワイトボードに絵や図、式、言葉をつなげて書くようにする。
- 必要があればおり紙や輪飾りの実物を用意して解決の手がかりや見通しがもてるようにする。

- 困っていることや分からないことを出し合う。
- 本、枚、個などいろいろな単位が出てくるので、それぞれの数が何を表しているのか、単位は何なのかはつきりさせる。
- それぞれの図や式、数を確認しながら、友達と自分たちの表現を比べ、気付いたことを出し合う。

◆数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けたりして考えている。(ホワイトボード、発言)

- 自分で工夫できたことや友達から学んだことなどについて振り返る場を設定する。

(3) 本時の評価

| | 十分満足できると判断される児童の具体例 | おおむね満足できると判断される児童の具体例 | 支援を必要とする児童への指導の手立て |
|---------|---|--|--|
| 数学的な考え方 | 数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考え説明したりしている。 | 数量の関係を図や式に表したり、式を図や具体的な場面に結び付けて考えたりしている。 | 提示された条件を一緒に読んだり、おり紙を操作したりしながら、図や式に表すことができるようにする。 |

【本時】

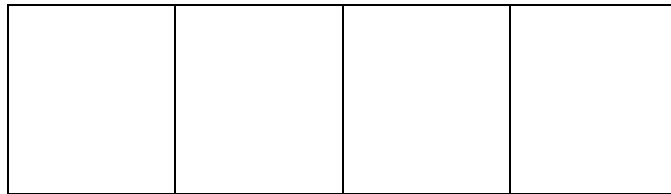
ビー玉パーティーでまどにわかざりをかざります。

わかざりは、おり紙で作ります。おり紙のまい数は、20まいです。

おり紙は、足りですか、足りませんか。

作り方は つぎのとおりです。

- ① 4つのまどに、かざります。
- ② 1つのまどの よこの長さは、90cmです。
- ③ 1つのまどに、1本のわかざりを かざります。
- ④ 1本のわかざりには、おり紙が 3まいひつようです。
- ⑤ 1まいのおり紙から、“わ”を8こ作ることができます。



【前時】

ビー玉パーティーで赤色、黄色、青色の花かざりをかざります。

花かざりは、まどのはしらにかざります。

花かざりは、お花紙で作ります。お花紙は、どの色も20まいずつあります。

お花紙は、たりますか、たりませんか。

作り方は、つぎのとおりです。

- ① はしらの数は、7本です。
- ② お花紙5まいで、お花を 1こ作ります。
- ③ 赤い花は1こ、黄色い花は2こ、青い花は4こ作ります。